

JENESYS2015（招へい）

（対象国：ミャンマー、テーマ：文化（日本語コミュニケーション・
日本文化体験）の記録

1. プログラム概要

「対日理解促進交流プログラム」の一環として、ミャンマーより、日本語コミュニケーションと日本文化体験に関心を有する大学生 29 名が来日し、日本の政治、社会、歴史、日本語および日本文化に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、12 月 14 日から 12 月 22 日までの 8 泊 9 日の日程でプログラムを実施しました。

2. 参加国・人数

ミャンマー 29 名

3. 訪問地

東京都、岐阜県

4. 日程

- 12 月 14 日（月） 成田国際空港より入国
来日オリエンテーション
- 12 月 15 日（火）【日本理解講義、基調講演】
【歴史・伝統文化】浅草、江戸東京博物館
- 12 月 16 日（水）東京から岐阜県へ移動
【地方自治体講義】岐阜県庁
- 12 月 17 日（木）【歴史・伝統文化】岐阜市歴史博物館、岐阜大仏、美濃和紙の里会館
- 12 月 18 日（金）【学校交流】大垣女子短期大学
【日本文化体験】茶の湯体験
【歴史・伝統文化】大垣城
【ホームステイ】ホームステイ対面式
- 12 月 19 日（土）【ホームステイ】
- 12 月 20 日（日）【ホームステイ】ホームステイ歓送会
【ワークショップ】
- 12 月 21 日（月）東京へ移動
【成果報告会】訪日成果・帰国後活動計画発表
- 12 月 22 日（水）成田国際空港より出国

5. プログラム記録写真



12/15【日本理解講義、基調講演】東京都



12/15【歴史・伝統文化】浅草



12/16【地方自治体講義】岐阜県



12/17【歴史・伝統文化】岐阜大仏



12/18【学校交流】大垣女子短期大学



12/20【ホームステイ】ホームステイ歓送会

6. 参加者の感想

◆ ミャンマー 大学生

歴史遺産を保持し、500年以上も前の大仏と建物を、今に至るまで維持していることに驚きました。私たちの国ミャンマーも歴史文化遺産の多い国です。しかしそのことを世界に知ってもらう力がありません。日本の文化保全や、世界に知ってもらえるような努力を真似したならば、ミャンマーの遺産について知る人は多くなるでしょう。また、日本の伝統工芸を、訪れる人々に教えていることは、文化の振興において良いお手本です。ミャンマーも日本の文化興をお手本として、努力していきたいと思います。その他に、日本は健康にとっても気を使っていると気づきました。お店には、手洗い用の消毒液があり、病気の際はマスクをし、病気の症状が出れば、すぐに見てもらうなど、ミャンマーでは見受けられない行動です。そして、大都市だけでなく、小さな町でも、貧富の差はなく、発展している様子を目にしました。経済政策と最新の発明なども、真似するべきだと思いました。

◆ ミャンマー 大学生

日本の環境の美しさ、時間を尊重する日本人の様子、責任と仕事を重視する様子が、非常に印象的でした。日本は経済、技術が発展していますが、環境も破壊することなく大切にしています。また、日本は地震大国です。地震のために、被害を受けた地域も少なくありません。しかし最先端技術でできる限りの予防を施し、災害が生じたら、すぐに復興するようにしています。ミャンマーは今、軍事政権から民主主義の時代へと移り変わっていく時期です。発展して世界の国々と肩を並べることができるようになるには、最新の技術と民主主義制度が必要です。私たちは、世界の国々から技術と制度を学び、母国のために利用できるものは、利用していかなければなりません。ミャンマーは、天然資源や、歴史遺産が豊かな国なので、それらを失わずにきちんと守っていくとともに、利用していくことができれば、国として発展していくことでしょう。ミャンマーを代表として訪日した私も、母国の発展のために本プログラムで学んだ技術や制度を伝えていきたいです。

◆ ミャンマー 大学生

日本は伝統文化、技術、人々の生活水準などあらゆることが発達していました。日本人はとても親切で、中でも、お互い敬意を払っているということをミャンマーの人たちに知らせたいです。また、日本は経済発展ばかりを目指すのではなく、環境のことも大切にしていました。歴史遺産を維持に努め、各地域に博物館や城などがあること、県や市ごとにそれぞれを代表するマークがあることを知りました。また、日本が発展しているのは、子供たちを小さいころから大切に育てているからだということも知らせたいです。教育だけを重視するのではなく、精神的な成長も重視していること、規則正しく生活していること、仕事ばかりではなく、リラックスタイムを設けて家族や友人のために時間を使うこと、歴史や伝統を大切に、後世に伝えていっていることなどをミャンマーの人々に教えてあげたいです。将来のリーダーとなるべき若者が精神的に豊かで、品行方正な人物となるよう教育している日本社会を真似するべきであるとミャンマーで伝えていきたいです。

7. 参加者の報告会での報告内容/プログラム中の発信内容

Preservation of Culture • Culture + Technology ○ Example: Museum, Castle, School 	Conclusion • Learning • Sharing • Implementing 
日本での気づき	アクションプラン
Ag Lin [🇲🇲] traveling to Japan from Gifu-Hashima Station. December 17, 2015 · Hashima-shi, Gifu JENESYS2015 Myanmar 1st Batch (Culture) Japanese Language Communication/Experience in Japanese Culture  Like Comment Share	Myat Poe Ei San December 21, 2015 We're JENESYS MYANMAR 2015 #JENESYS_MYANMAR  Like Comment Share
Facebook 発信	Facebook 発信